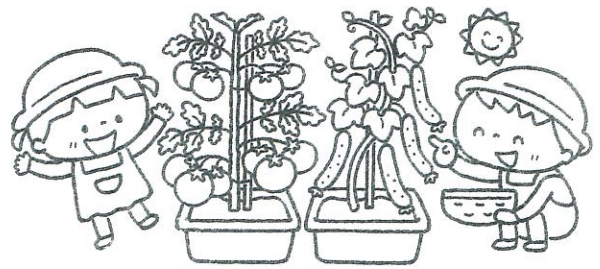


食育だより

2025年6月10日 汐見台キッズステージ



へんぎんぐみ



いるかぐみ



まんぼうぐみ



くじらぐみ



(らっこぐみ)

モグモグ期からカミカミ期への移行に向けて、しっかり咀嚼できるように、「モグモグ」と言葉掛けをしたり、前歯でかじり取ったりする練習をしています。また、夏に向けて十分に水分補給を摂えるようコップ飲みも練習していこうと思っています。ぜひお家でも練習してみてください。

(かめぐみ)

見た目や食べることを嫌がっていた物も少しずつ口に入れ「おいしい!」とわかったらパクパク食べ「あまいね」「シャキシャキ音がするね」と味や食感をおはなししながら楽しく食事をしています。

(へんぎんぐみ)

5月に入ってさつまいもの苗を植えました。水やりをいに行くと、苗の様子に興味をもっています。さつまいもの苗は他の野菜よりも変化が分かりづらくはありますが、水やりや成長をみんなで見守っていこうと思います。

(いるかぐみ)

キュウリの苗を植え水やりのお当番を交代してやり成長の早さに驚いています。

(まんぼうぐみ)

オクラの苗をみんなが植え水あげはお当番が担当し「おいしいオクラが出来ますように」と声を掛け水あげをしています。

(くじらぐみ)

今年もパシフィックステージの畑に枝豆の苗を植えました。お部屋ではリボベジ(再生野菜)をしています。にんじんの切れ端を水に入れて葉が出てきました。

保健だより

2025年6月10日
汐見台キッズステージ

熱中症に気をつけましょう

子どもは体温調節機能が未熟なので、体に熱がこもりやすくなります。熱中症は屋外だけでなく、室内にいてもかかります。次の予防策を保護者の皆様と共有し、快適な夏を過ごせるようにしたいと思います。

- ・真夏がくる前にたくさん体を動かし、暑さに慣れる。
- ・こまめに空調管理をする。
- ・水分補給をし、休憩を必ずとる。



子どもの体 ケアと対策

夏に多い皮膚トラブルのひとつがあせもです。あせも(汗疹)は汗が高温多湿の環境下で蒸発せず、汗腺にたまることでできます。汗を出す汗腺の数は、大人も子どももほぼ同じですが、体が小さい子どもの場合、小さい面積に汗腺が密集することで、大人の2~3倍もの汗をかいています。



令和7年度かんがい用水の通水について (通知)

このことについて、神奈川県相模川左岸土地改良区より、別紙のとおりかんがい用水路(農業用水路)への通水開始について通知がありました。

5月9日以降、順次市内農業用水路への通水も始まります。事故防止のため、水路内に立ち入らないようご指導くださいますようお願いいたします。



歯を大事に



食後の歯みがき、どれくらいできていますか? もちろん毎食後歯みがきをすることが一番よいですが、虫歯になりやすいおやつを避ける、食後にお茶を飲むなど、自分の歯を守るためにできる様々なことを子どもたちに伝えていけるとよいですね。



子どもたちが毎日飲んでいる麦茶には、体温を下げる効果があります。また、虫歯の予防など、さまざまな効果も含まれているようです。

夏にかかりやすい感染症には、咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。これらの感染症に負けないためにも、早寝・早起きの習慣をつけ、規則正しい生活をするよう心がけましょう。

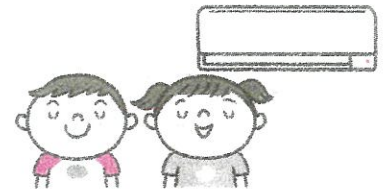


あせもを作らないために



汗をかいた服を着替える

汗でぬれた服はこまめに取り替えます。吸湿性、通気性のよい綿素材の物がよいでしょう。



室温を調節

涼しく風通しのよい環境が一番。エアコンや扇風機などを使って過ごしやすい室温にしましょう。



タオルで汗を拭く

汗をかいたままにしないことが大切。脇やおなか、背中などもぬらしたタオルで拭きます。



汗をかいた場所を洗い流す

シャワーを浴びることができない場合は、水道で手足の汗だけでも流します。

茅ヶ崎市農業水産課
施設管理担当からののお知らせです